

2002年 日本水大賞

豊かな自然を育み、多くの生命の根源となる水。水は人と自然が共生して行く上で欠かせない、貴重なものです。今年も水循環系の健全化をめざすさまざまな活動を募集します。

今回から青少年の国際交流を進めるために、青少年研究活動賞が設けられました。この受賞者は2002年夏にスウェーデンで開催される
ストックホルム・ジュニア・ウォーター・プライズの国際コンテストに日本代表として参加いただくことになります。

[対象となる活動内容]

水循環系の健全化に寄与すると考えられる活動で、以下のような分野における諸活動（研究、技術開発を含む）を対象とします。

①水環境：例えば、以下の視点などから実施される諸活動。
- ●川や湖沼、海などの水をきれいにする。
- ●水辺の生き物やそのすみかを大切にする。
- ●水辺や水のある地域づくり。

②水資源：例えば、以下の視点などから実施される諸活動。
- ●水を大切にする。
- ●山や川などの水源地を大切にする。
- ●異常渇水のときに被害を少なくする。

③水文化：例えば、以下の視点などから実施される諸活動。
- ●水や川や湖沼、海などに対する敬意と親愛を高める。
- ●水や川や湖沼、海などの文化を創ったり広めたりする。（芸術、文学を含みます）
- ●地域における水文化を発掘したり普及する。

④水防災：例えば、以下の視点などから実施される諸活動。
- ●水災害に対する安全性の向上に資する技術を開発し、普及する。（ハイテク機器、文化財、ライフライン等を水災害から守る）
- ●雨をためる、しみこませる、ゆっくり流す。
- ●河川の伝統的技術や災害体験の継承等啓発・普及。

※青少年研究活動賞に応募する場合は、上記①～④に関係する調査研究、および調査研究にもとづいた実践的活動。
※その他、上記①～④の分野に関する国際的な連携・技術協力・学会活動

[対象となる活動主体]

以下のような方々が実施する諸活動を対象とします。（個人、法人、グループの種別、年齢、職業、性別、国籍等を問いません）
①学校：小中学校、高等学校、大学などで行う活動など。
②行政：地方自治体、水防団、消防団などで行う活動など。
③企業：企業の研究や技術開発、製品開発活動、及び社会貢献活動など。
④団体：民間で組織する団体、または公益法人が行う活動など。
⑤個人：学校、行政、企業、団体を離れた個人が行う研究や技術開発、文化活動、または節水、水質保全のための生活改善運動などの諸活動。

※青少年研究活動賞に応募する場合は、20歳未満の高等学校または同等の学校（ただし高等専門学校については1年生から3年生まで）に在籍している生徒または生徒の団体（クラブなど）による調査研究が対象となります。
※第1回、第2回、第3回「日本水大賞」に応募された活動も、ふるってご応募ください。（大賞、大臣賞、市民活動賞を受賞した活動を除く）

日本水大賞の内容／対象となる活動の中から、優れたものに対して、以下の賞を授与し、広く公表します。①大賞【グランプリ】（副賞100万円）水循環の健全化を図る上で、活動内容が幅広くかつ社会的貢献度が高く、総合的見地から観て特に優れたものに対して授与します。②大臣賞（副賞50万円）国土交通行政、環境行政、厚生労働行政等行政目的に沿ったもので、特に優れたものに対して授与します。③市民活動賞（読売新聞社賞30万円）市民活動の中から、特に優れたものに対して授与します。④国際貢献賞（副賞30万円）活動の範囲や効果が国際的であり、人・文化・技術の日本との交流も含め大きな功績をあげていると考えられるもの。⑤奨励賞（副賞10万円）①～④の上記各賞の他に特に優れたものに対して授与します。⑥青少年研究活動賞（副賞は国際コンテストへの参加費用）20歳未満の高等学校または同等の高校（ただし高等専門学校については1年生から3年生まで）に在籍している生徒または生徒の団体による調査研究および調査研究にもとづいた実践的活動のうち特に優れたものに対して授与します。
応募方法／申請用紙に所要事項をご記入の上、事務局までご持参もしくはご郵送ください。またE-mail（taisyo@japanriver.or.jp）の添付ファイルでもご応募いただけます。申請用紙は郵送によるご請求で承っています。
ホームページからのダウンロードによる入手も可能です。（http://www.japanriver.or.jp/taisyo/）

募集期間 平成13年7月7日（土）～11月30日（金）

主催／日本水大賞顕彰制度委員会（委員長：高橋裕　副委員長：中川志郎　委員：大内照之、片倉もとこ、川那部浩哉、小坂忠、小松左京、庄子幹雄、鈴木基之、早川準一、松尾友矩、村岡浩爾、他）　後援／外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省、（財）河川環境管理財団、（社）環境科学会、（社）経済団体連合会、（社）砂防学会、水文・水資源学会、（財）世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）、全国市町村教育委員会連合会、全国水防管理団体連合会、（社）全国治水砂防協会、全国都道府県教育委員会連合会、全国内水面漁業協同組合連合会、全国水環境交流会、電気事業連合会、（社）土木学会、（社）日本河川協会、（社）日本下水道協会、日本下水道事業団、（社）日本工業用水協会、（社）日本港湾協会、（財）日本自然保護協会、（社）日本水道協会、日本生活協同組合連合会、（財）日本ダム協会、日本地下水学会、（社）日本の水をきれいにする会、（社）日本水環境学会、（財）日本野鳥の会、日本陸水学会、日本林学会、（社）農業土木学会、（社）農村環境整備センター、水資源開発公団、読売新聞社、等

※本事業は河川整備基金の助成事業で実施しております

【お問い合わせ・お申し込み先】事務局（社）日本河川協会　〒102-0083 東京都千代田区麹町2-6-5 麹町E.C.Kビル3F
TEL.03-3238-9771（土曜・日曜・祝日を除く9:15～17:30）　FAX.03-3288-2426　E-mail:taisyo@japanriver.or.jp